

第 149 期 中間報告書

2014年4月1日から2014年9月30日まで

S-エネチャージ搭載^{※1} NEW WAGON R 誕生



Photo: ワゴン R FZ

軽ワゴン低燃費 No.1^{※2}

燃料消費率
(国土交通省審査値)

JC08モード
FZ 2WD車

32.4 km/L^{※3}

※1 FZに標準装備。 ※2 軽ワゴン=全高1,550mm以上の軽自動車。JC08モード走行燃費(国土交通省審査値)に基づく。2014年8月現在、スズキ調べ。

※3 燃料消費率は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社第149期中間報告書をお手許にお届けするにあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

当社グループを取り巻く経営環境は、米国の金融緩和縮小の影響や新興国経済の先行きへの不透明感、一部地域での地政学的リスクの影響があるものの、海外経済は緩やかに回復しています。特にインドでは新政権による改革期待から消費者心理の改善がみられる状況にあります。国内においても景気の回復基調は続いておりますが、一方において消費税率引上げに伴う反動減の影響が継続している状況にあります。

このような状況下、当第2四半期の連結売上高は1兆4,307億円と前年同期に比べ605億円(4.4%)増加しました。国内売上高はOEM売上の増加により5,207億円と前年同期に比べ164億円(3.3%)増加しました。海外売上高は、欧州、アジアでの増加により9,100億円と前年同期に比べ441億円(5.1%)増加しました。

連結利益の面では、営業利益は日本、インドネシア、タイなどで減少しましたが、為替による増益等により905億円と前年同期並みとなりました。経常利益は972億円と前年同期に比べ48億円(5.2%)の増加、四半期純利益は539億円と前年同期に比べ22億円(4.4%)の増加となりました。

なお、当中間期の配当金につきましては、営業利益が前年同期並みであること、足元の7~9月期業績が前年同期に対し減益であることなどを勘案し、1株につき10円(前年中間配当10円)と据置きとさせていただきます。

当社グループを取り巻く環境は、引き続き厳しい状況が続きますが、当社グループは丸一となってあらゆる分野での改革に取り組み、業績の向上を目指し事業活動を展開してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2014年11月



代表取締役会長兼社長

鈴木 修

(後列左から)

代表取締役副社長 代表取締役副社長 代表取締役副社長 代表取締役副社長

原山 保人 本田 治 田村 実 鈴木 俊宏

株 式 (2014年9月30日現在)

- 株式の総数 発行可能株式総数 1,500,000,000株
発行済株式の総数 561,047,304株
- 単元株式数 100株
- 株 主 数 30,583名
- 大 株 主

株 主 名	持 株 数 (千株)	持株比率 (%)
フォルクスワーゲン アーゲー	111,610	19.9
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	23,990	4.3
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	18,103	3.2
東京海上日動火災保険株式会社	17,961	3.2
株式会社三菱東京UFJ銀行	16,000	2.9
株式会社静岡銀行	14,500	2.6
株式会社りそな銀行	13,000	2.3
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	7,761	1.4
新日鐵住金株式会社	7,759	1.4
ピービーエイチ ポストン カस्टディアン フォー ブラックロック グローバル アロケーション ファンド インク 620313	6,880	1.2

- (注) 1. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 当社は、自己株式 6,360株を保有しております。
3. 持株比率は、当社保有の自己株式を除いて算出しております。

●株主優待制度について

当社では、株主様の日頃のご支援に感謝するとともに、当社製品の一層のご愛用を願ひまして、2014年3月31日現在で1単元(100株)以上を保有の株主様を対象に、株主優待を以下のとおり実施いたしました。

<優待内容>

当社の欧州生産拠点マジャーレ スズキ社の所在国ハンガリーの産品である「ハンガリーアカシアはちみつ」と、天然のミネラルを豊富にバランスよく含んだドイツ原産の「岩塩」の詰め合わせ



(※) 株主優待品につきましては、2014年3月31日現在のご登録ご住所あてに5月中旬~6月末頃にかけて発送いたしました。ご住所変更や長期ご不在などの理由による優待品不達の原因による再発送手続きは、2015年4月末日をもって終了させていただきますのでご了承願います。

会社の概要 (2014年9月30日現在)

- 社 名 スズキ株式会社
- 英文社名 SUZUKI MOTOR CORPORATION
- 本 社 静岡県浜松市南区高塚町300番地
- 設 立 1920年3月
- 資 本 金 138,014,762,161円
- 決 算 期 3月31日
- 従業員数 連結 57,409名
(就業人員数) 単 独 14,893名

●役員氏名 (2014年10月1日現在)

※取締役会長兼社長 鈴木 修	常勤監査役 中村 邦夫	専務役員 鮎川 堅一	常務役員 笠井 公人
※取締役副社長 田村 実	常勤監査役 松本 俊二	専務役員 青山市 三	常務役員 大石 泉
※取締役副社長 本田 治	監査役 石塚 伸	常務役員 蓮池 利昭	常務役員 豊田 泰輔
※取締役副社長 鈴木 俊宏	監査役 大須賀正孝	常務役員 内田 博康	常務役員 長尾 正彦
※取締役副社長 原山 保人	監査役 田中 範雄	常務役員 岩月 隆始	常務役員 長草 立義
取締役専務役員 相澤 直樹		常務役員 袴田 和夫	常務役員 相曾 友吉
取締役専務役員 望月 英二		常務役員 松浦 浩明	常務役員 永尾 博文
取 締 役 井口 雅一		常務役員 古庄 誠一	常務役員 浅井 慶一
取 締 役 谷野 作太郎		常務役員 村上 元男	

- (注) 1. ※印は、代表取締役であります。
2. 取締役のうち、井口雅一及び谷野作太郎の両氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。また、東京証券取引所の定めに基づく独立役員であります。
3. 監査役のうち、石塚 伸、大須賀正孝及び田中範雄の三氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。また、東京証券取引所の定めに基づく独立役員であります。

連結貸借対照表

(単位：百万円未満切捨て)

科 目	当第2四半期連結会計期間 (2014年9月30日現在)	前連結会計年度 (2014年3月31日現在)
	資産の部	
流動資産	1,788,834	1,790,832
現金及び預金	256,475	358,851
受取手形及び売掛金	268,289	310,694
有価証券	728,302	612,489
商品及び製品	221,426	200,045
仕掛品	31,175	29,952
原材料及び貯蔵品	49,401	46,287
その他	238,479	238,018
貸倒引当金	△ 4,717	△ 5,506
固定資産	1,137,894	1,083,242
有形固定資産	740,920	694,420
無形固定資産	6,556	7,243
投資その他の資産	390,417	381,578
投資有価証券	309,905	287,920
その他	81,201	94,415
貸倒引当金	△ 670	△ 757
投資損失引当金	△ 19	—
資産合計	2,926,729	2,874,074
負債の部		
流動負債	1,003,284	1,056,933
買掛金	411,446	433,819
短期借入金	218,470	236,161
未払法人税等	26,148	46,628
製品保証引当金	59,949	61,447
その他	287,270	278,876
固定負債	357,711	322,783
長期借入金	234,787	209,166
災害対策引当金	16,596	16,596
その他の引当金	9,633	8,585
退職給付に係る負債	38,569	36,918
その他	58,124	51,517
負債合計	1,360,996	1,379,717
純資産の部		
株主資本	1,327,454	1,290,877
資本金	138,014	138,014
資本剰余金	144,364	144,364
利益剰余金	1,045,133	1,008,555
自己株式	△ 58	△ 57
その他の包括利益累計額	53,903	35,846
その他有価証券評価差額金	113,287	104,745
繰延ヘッジ損益	142	131
為替換算調整勘定	△ 63,325	△ 72,898
退職給付に係る調整累計額	3,798	3,867
新株予約権	202	168
少数株主持分	184,171	167,464
純資産合計	1,565,732	1,494,357
負債純資産合計	2,926,729	2,874,074

連結損益計算書

(単位：百万円未満切捨て)

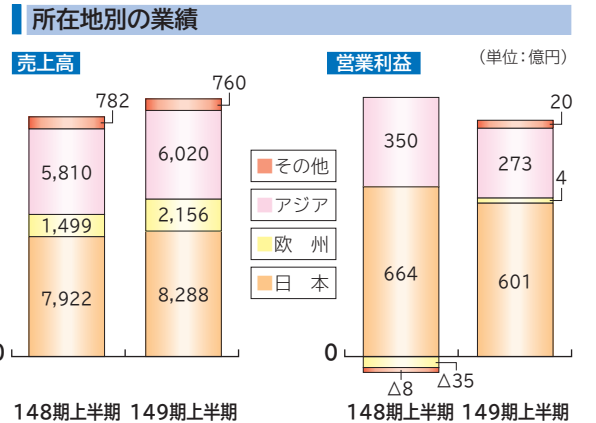
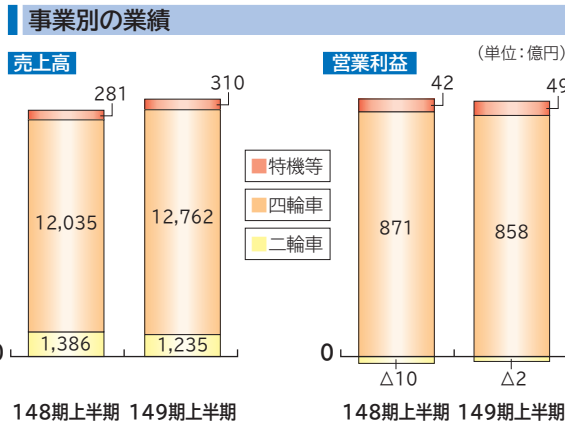
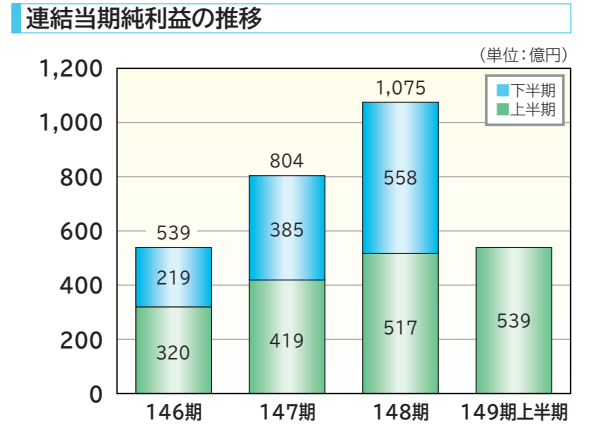
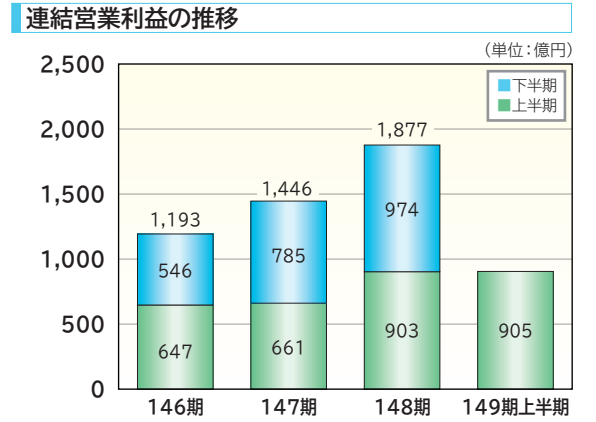
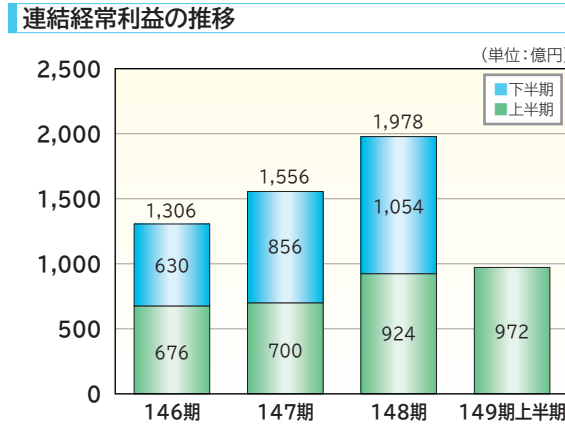
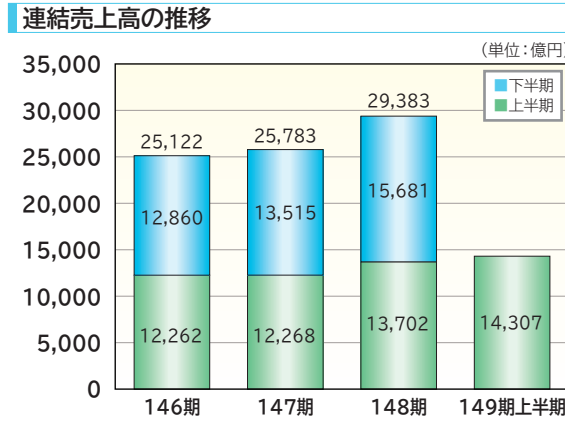
科 目	当第2四半期連結累計期間 (2014年4月1日から 2014年9月30日まで)	前第2四半期連結累計期間 (2013年4月1日から 2013年9月30日まで)
	売上高	1,430,689
売上原価	1,047,088	985,146
売上総利益	383,601	385,042
販売費及び一般管理費	293,073	294,743
営業利益	90,528	90,298
営業外収益	19,802	15,480
受取利息	9,822	4,531
受取配当金	4,107	3,202
持分法による投資利益	—	173
その他	5,872	7,572
営業外費用	13,083	13,369
支払利息	3,808	2,831
為替差損	1,665	8,100
持分法による投資損失	3,390	—
その他	4,218	2,437
経常利益	97,248	92,410
特別利益	442	661
固定資産売却益	442	652
投資有価証券売却益	—	8
特別損失	1,034	369
固定資産売却損	361	311
投資有価証券売却損	—	0
減損損失	672	58
税金等調整前四半期純利益	96,656	92,702
法人税等	30,986	31,626
少数株主損益調整前四半期純利益	65,669	61,075
少数株主利益	11,724	9,425
四半期純利益	53,945	51,650

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円未満切捨て)

科 目	当第2四半期連結累計期間 (2014年4月1日から 2014年9月30日まで)	前第2四半期連結累計期間 (2013年4月1日から 2013年9月30日まで)
	営業活動によるキャッシュ・フロー	94,551
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,494	△ 82,484
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 659	△ 12,942
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,658	3,721
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	92,055	72,575
現金及び現金同等物の期首残高	710,611	661,102
連結子会社の会計期間変更に伴う現金及び現金同等物の期首残高増減額(△は減少)	△ 2,039	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	800,627	733,678

連結業績の推移



トピックス

当社が当期に発売した商品に採用した、新しい技術についてご紹介します。「ワゴンR」に採用した「S-エネチャージ」、「キャリイ」に搭載した「AGS(オートギヤシフト)」など、新技術を積極的に導入し商品力の向上を図りました。

S-エネチャージ



「S-エネチャージ」は、「エネチャージ」で培ったエネルギー管理技術に、ISGとS-エネチャージ車専用リチウムイオンバッテリーを組み合わせたスズキ独自の低燃費化技術です。8月に一部改良を行った「ワゴンR」と「ワゴンRスティングレー」に搭載し、軽ワゴンNo.1の32.4km/L※1の低燃費を達成しています。

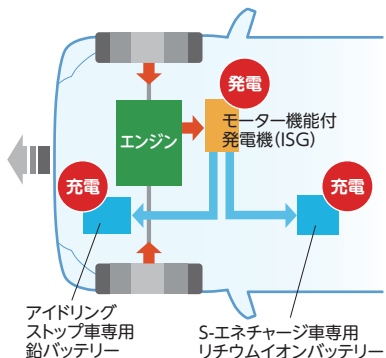
※1 軽ワゴン=全高1,550mm以上の軽自動車。JC08モード走行燃費(国土交通省審査値)に基づく。2014年8月現在、スズキ調べ。ワゴンR FZ(2WD車)、ワゴンRスティングレー X(2WD車)

「S-エネチャージ」の作動パターン

減速時

ムダなガソリンを使わずに発電して2つのバッテリーに充電

ガソリンを使わない減速時に、タイヤの回転を利用してエンジンが動き続ける力(減速エネルギー)によりISGで発電。アイドリングストップ車専用鉛バッテリーとS-エネチャージ車専用リチウムイオンバッテリーに充電します。

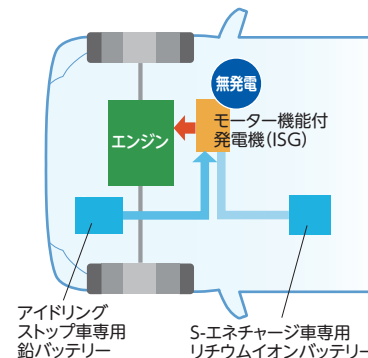


※2 モーターアシストの作動には、バッテリーの状態など一定の条件があります。※3 電装品の使用状況またはバッテリーの状態により、発電する場合があります。

エンジン再始動時

スターターモーター機能でエンジンを再始動

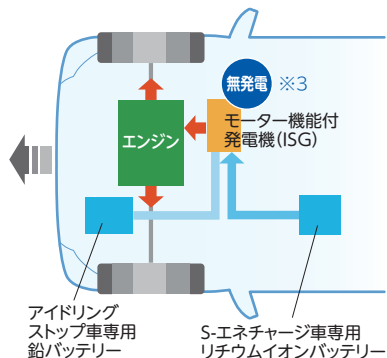
ISGのスターターモーター機能を使ってエンジンを再始動します。ギヤ(歯車)ではなくプーリーとベルトを使う仕組みなのでエンジン再始動時の音が小さく快適です。



加速時

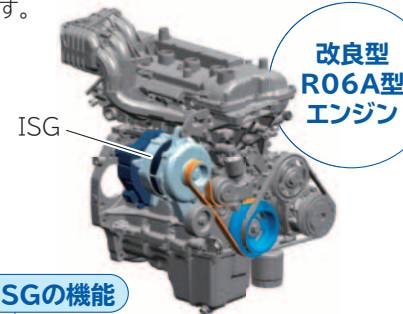
加速はそのままにモーターでアシスト※2してエンジンの負担を軽減

蓄えた電気を加速時のモーターアシストに利用。エンジンの負担を減らすことで、使うガソリンの量を減らします。



ISG (Integrated Starter Generator)

ISGは、従来のオルタネーターよりも発電能力を高めたコンパクトなモーター機能付き発電機です。発電機としての機能に加え、エンジンの再始動や加速時のモーターアシストが可能です。



改良型 R06A型 エンジン

ISGの機能

- 減速時の発電能力をエネチャージ比で30%向上
- ベルトを介して静かでスムーズなエンジン再始動
- 減速時に蓄えた電力を使用してモーターアシスト

AGS (オートギヤシフト)



AGSは、マニュアルトランスミッションをベースにクラッチ及びシフト操作を自動で行う新トランスミッションです。

海外では、今年2月からインドの「セレリオ」に搭載して発売しており、好評をいただいております。さらに2015年初めよりAGS搭載の「セレリオ」をタイで生産し、欧州へ輸出開始する計画です。



◀セレリオ(インド)

国内では今年8月に「キャリイ」※4へ搭載して発売、力強い走破性や高い登坂性能を向上させ、19.4km/L※5の低燃費を達成しました。



◀キャリイ 5AGS車▶

※4 キャリイ KCエアコン・パワステ セットオプション装着車
※5 JC08モード走行燃費(国土交通省審査値)に基づく。

7月 スズキ船外機が世界累計生産300万台を達成

当社が製造する船外機の世界累計生産台数が、1965年の生産開始から49年で300万台を達成し、豊川工場で記念式典を開催しました。当社の船外機は、幅広いラインアップで世界145の国・地域のお客様にご愛顧いただいています。



8月 海外向け新型SUV「VITARA(ビターラ)」を発表

新型SUV「VITARA(ビターラ)」は、卓越した走行性能を追求し、ユーザーのライフスタイルを反映できる新しいコンパクトSUVです。2014パリモーターショーにて初公開しました。2015年初めより当社のハンガリー子会社、マジャールスズキ社にて生産を開始し、欧州各国へ供給を行う予定です。



9月 二輪車レースの最高峰 ロードレース世界選手権(MotoGP)に2015年より参戦を発表

当社は2015年シーズンからのMotoGP参戦を決定し、ドイツで開催されたインターモトにおいて、新開発の参戦車両「GSX-RR」と参戦ライダー、チーム体制を発表しました。当社はレースを通じて商品の開発を進め、ブランドイメージの向上を図ってまいります。



株主メモ

定時株主総会	6月中	株主名簿管理人 特別口座の口座 管理機関	〒100-8233 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告します。	同事務取扱場所	〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
公告方法	電子公告によります。 但し、やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、東京都において発行される日本経済新聞に掲載して行います。 http://www.suzuki.co.jp/ir/index.html	郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行事務センター フリーダイヤル 0120-782-031 (受付時間:平日9:00~17:00)
証券コード	7269	同 取 次 窓 口	三井住友信託銀行株式会社 全国本支店

株式に関する各種お手続きについて

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について	未払配当金の支払いについて
<p>①証券会社をご利用の株主様 お取引の証券会社にお申出ください。</p> <p>②証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様 特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。</p>	<p>株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。</p>



Photo: 隼 (ハヤブサ)